

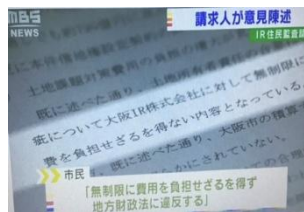
大阪 IR カジノ誘致「住民監査請求」意見陳述

23 日 10 時から大阪市役所会議室で大阪 IR カジノ誘致に対する住民監査請求「意見陳述」があった。現在、5 月 11 日に提出した監査請求の監査が進められている。請求人 5 人のうち、稲盛さんと中野さん、私が夢洲への大阪 IR カジノ誘致について問題を指摘した。写真は MBS(毎日放送)ニュースから。冒頭と意見陳述の会場など、陳述前に行った「単独インタビュー」。なんだか久しぶりだ。

私の意見陳述ポイントだけでも、紹介しておきたい。



高層建築物などを想定していない軟弱地盤の埋立地に、IR カジノ施設を計画するため、大阪府が底なしの財政負担をすることに異議を申し立て、差止めを求める



監査請求です。とりわけ「基本協定書」は、業者の言いなりの協定であり、このままでは大阪府に巨額の負担が一方的に押しつけられることを危惧して、請求人の一人として名を連ねることにしました。

議会でも問題となった 790 億円の公金投入は、土壌汚染や液状化対策など、きちんと調査して積算された金額ではありません。このほか地盤沈下や公共インフラ整備なども、「土地所有者の責任として」、大阪府負担になることが懸念されます。まさに IR カジノ用地対策などに底なしの公金投入が続くことになりかねません。問題は請求書 38 ページ記載のように、IR 事業者が指摘する夢洲の IR 予定地の「極めて稀な地盤条件下での施設建設」が、大阪府の土地対策により実施されることです。

大阪港湾局長等が IR カジノ用地の借地権設定契約をすることは、「最少の経費で最大の効果」を求める地方自治法 2 条、経費は「最少の限度をこえて支出してはならない」とする地方財政法 4 条 1 項、公営企業の「経営の基本原則」を定める地方公営企業法 3 条に違反しており、違法であります。

私たち監査請求人らは、大阪府の違法な財務会計上の行為に対して差止めを求めます。監査委員の皆さんには、違法な夢洲の事業用定期借地権設定契約等の停止の勧告を要求します。

(2022 年 6 月 25 日)